

2003 年度 経済原論 : 期末試験

2003 年 7 月 2 日 (水) 実施

< 解答・採点基準 >

[第 1 問]

需要曲線と供給曲線を連立させて、価格と取引量について解く。均衡では $x=y$ であることに注意。

$$\text{価格} : \frac{ad+bc}{b+d} \text{ や } a-b\frac{a-c}{b+d} \text{ など}$$

$$\text{取引量} : \frac{a-c}{b+d}$$

$t \times 100\%$ の消費税が導入されると、消費者の直面する価格は生産者価格の $1+t$ 倍となる (ex. 10% の消費税が導入されると 1.1 倍になる)。つまり、消費者価格は $p = (1+t)(c+dy)$ と表すことができる。

$$\text{価格} : (1+t)\frac{ad+bc}{b+d+dt}, a-b\frac{a-c-ct}{b+d+dt}, a-b\frac{a-c(1+t)}{b+d(1+t)} \text{ など}$$

$$\text{取引量} : \frac{a-c-ct}{b+d+dt} \text{ や } \frac{a-(1+t)c}{b+(1+t)d} \text{ など}$$

上記 の答えから、生産者価格は $\frac{ad+bc}{b+d+dt}$ である。消費者負担は「消費者価格 - 元の価格」、生産者負担は「元の価格 - 生産者価格」として計算できる。

$$\text{消費者負担} : (1+t)\frac{ad+bc}{b+d+dt} - \frac{ad+bc}{b+d} \text{ や } \frac{(ad+bc)bt}{(b+d)(b+d+dt)} \text{ など}$$

$$\text{生産者負担} : \frac{ad+bc}{b+d} - \frac{ad+bc}{b+d+dt} \text{ や } \frac{(ad+bc)dt}{(b+d)(b+d+dt)} \text{ など}$$

[第 2 問]

5/7 : 10 ~ 11 点、5/28 : 16 点、6/25 : 22 ~ 23 点

1. 7/9 までの残り日数が短くなると、阪神タイガースの順位に関する不確実性が減少するから。
2. 試合の消化とともに、今年の阪神タイガースの強さに関する情報が蓄積されるから。

[第 3 問]

価格の変化に対する需要・供給の反応の程度。グラフを使って説明しても可。

廃棄した方が、農家の収入が多くなることを示せばよい。グラフを使って説明しても可。

まず、消費税の負担について示す。その上で、需要・供給曲線の傾きを変化させると、消費税の負担がどのように変わるかを示せばよい。グラフを使って説明しても可。

[第 4 問]

$$\text{プラン 1} : F_1 + P_1 X + MY \quad Z \text{ または } Y \quad \frac{Z-F_1}{M} + \frac{P_1}{M} X$$

$$\text{プラン 2} : F_2 + P_2 X + MY \quad Z \text{ または } Y \quad \frac{Z-F_2}{M} + \frac{P_2}{M} X$$

ただし、不等号 () は等号 (=) でも可。

X を横軸、 Y を縦軸にとる。

$$\text{プラン 1} : \text{傾き} -\frac{P_1}{M}, \text{横軸との交点} \frac{Z-F_1}{P_1}, \text{縦軸との交点} \frac{Z-F_1}{M}$$

$$\text{プラン 2} : \text{傾き} -\frac{P_2}{M}, \text{横軸との交点} \frac{Z-F_2}{P_2}, \text{縦軸との交点} \frac{Z-F_2}{M}$$

ただし、プラン 1 の傾きの方が急。また、2 つの直線は第 1 象限で交わるとは限らない。

交わらない場合：必ずプラン 1 が得

交わる場合：特定の領域のみプラン 1 が得